

～学校教育目標～

一人一人の子どもに、平和な未来を築くための「生きる力（学ぶ力）」を育てる教育を実現する

いたわり はげます 平和な学校

しろやま
大すき

長崎市立城山小学校 学校だより

第27号 令和4年12月23日(金)

校長 武末 弘之

本校ホームページ <https://www.nagasaki-city.ed.jp/shiroyama-e/>

76日間の2学期終了！！

昨日は、今日の天候が心配されたため、急遽1日早い「終業式」を行いました。一足早く2学期の「城山の子（通知表）」を持ち帰った昨夜は、各家庭で話題になったのではないのでしょうか？親子でしっかりと御覧になり、子どもたちを励ます材料にいただければと思っています。さて、昨日の終業式では、次のような話をしました。

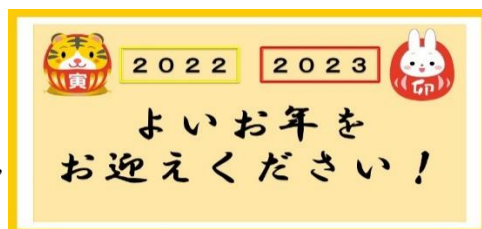
- 76日間の2学期が明日で終わり、明後日から17日間の冬休みに入る。
- 「健康第一！安全第一！」で過ごすこと…事故やけがに気をつけ、命を大切に！
- 不審者情報もたくさんあった2学期である…「イカのおすし」を心がける。
- 「いたわりはげます平和な学校」をみんなで目指してきた。そのため、「凡事徹底」と「時を守り 場を清め 礼を正す」ことを折に触れて話してきた。
- 城山小には、3つの合言葉がある。「3つの日本一」「しろやまだいすき」「あいさつめいじん」である。このことについて、自分がどうだったかを振り返ってみよう。
- 「しろやまだいすき」について、1学期は6年生だけだったが、今学期は5、6年生に振り返りをしてもらった。
比べてみると、1学期よりも花丸がたくさんになっている。5、6年だけでなく、全校のみんなが、「実りの2学期」を過ごし、自分の成長を実感している結果が花丸いっぱいになっているのだと思う。
- 「城山の子」には、先生方が皆さん一人一人をよ～く見て、「よくできたね」「がんばったね」「ここに気をつければさらに成長できるよ」ということが記されている。お家の人と一緒に、しっかりと読んで「これから自分はこれをがんばろう」と、自分の目標づくりに役立てよう。冬休み、楽しいこといっぱいあるだろうが、今までの自分を見つめる時間もとってほしい。
- 3学期始業式は1月10日（火）である。みんなが、元気なあいさつと笑顔で登校してくることを待っている。
- 最後にもう一度…命を大切に！そして、絶対に死んではいけません！！



お世話になりました！

無事に2学期を終えることができました。皆様の御理解と御協力に深く感謝いたします。ありがとうございました。

コロナウイルス感染症の感染状況が気になるところですが、それぞれができる感染対策を講じて、どうぞ御家族でよい年末年始をお過ごしください。



【あはは運動】「あいさつ・へんじ げんきよく！」「はやね・はやおき・あさごはん！」「はきものそろえ いいきもち！」

「詩の検定」12月終了

昨日までで、12月の詩の検定が終了しました。

今月も、最後の方で駆け込んでくる子どもたちがたくさんいて、時間の関係で全員がチャレンジできなかったことを申し訳なく思っています。と同時に、時間の使い方については、引き続き子どもたちの課題であるとも考えています。



12月の合格率は【59%】でした。前月比-9ポイントとなります。

日頃、あまり触れることがない古典からの課題だったので、子どもたちもかなり苦勞しているようでした。しかし、何回もチャレンジして、見事に合格した子どもたち(1年生も)います。

2学期は、1年生が2つの課題にチャレンジできるようにしていましたが、今学期の課題の方で毎月の集計はしていました。1学期の課題の方から先に挑戦する1年生が多かったのも、伸び悩んだ要因かもしれません。

3学期、新たな気持ちで多くの子どもたちがやってくるのを期待しています。1月の課題は、12月の続きで、昨日配付しています。冬休み中にしっかり練習してくれたらうれしいです。

<1月の課題>

一月の詩 枕草子一段 ②	枕草子 清少納言
秋は夕暮れ。 夕日のさして山の端いと近うなりたるに、 からすの寝どころへ行くとして、 三つ四つ、二つ三つなど 飛び急ぐさえあわれなり。 まいて雁などの連ねたるが、 いと小さく見ゆるは、いとおかし。 日入り果てて、風の音、虫の音など、 はた言うべきにあらず。	冬はつとめて。 雪の降りたるは、言うべきにもあらず、 霜のいと白きも、またさらでもいと寒きに、 火など急ぎおこして、炭持て渡るも、 いとつきつきし。 火桶の火も白き灰がちになりてわろし。
	

「城山検定の記録」今年も、2学期末に「第1回城山検定」を実施しました。本日、その結果を記した記録証を配付しています。(2教科とも未受検の場合は発行していません)

これは、学期末に、該当学期の国語と算数の定着度・理解度を測るテストを行い、その結果を家庭に通知するものです。記録証には、国語は「城山漢字テスト」の学期の平均点を、算数は「数と計算領域」を中心にした検定問題の得点を記しています。

2つの教科の、ごく一部の領域の状況を把握するものですから、その子の学力のすべてを示すものではありません。しかし、数値化することで、本人には自分の状況把握に役立ててもらいたいし、意欲向上にもつなげてほしいと思っています。また、我が子の学習状況や家庭学習への保護者の方の関心がさらに高まることも願っています。

もちろん、我々教員の授業改善にも役立てていきたいと思っています。

3学期末には、第2回を予定しています。このときは、2学期末と比較できるようにグラフ化して、変化(成長)を可視化しますので、どうぞ御期待ください。

「子どもたちを育てよう! 子どもたちに力をつけよう!」という学校と家庭の共通の願いを共有し、同じ方向を向いて子どもの成長を支えていきましょう。御理解と御協力のほど、よろしくお願いいたします。